

『臥龍梅』 蔵便り

平成二十三年睦月



拝啓 きびしくまたすがすがしい寒さが続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。



世間ではまだお屠蘇気分が抜けませんが、蔵人たちには暮も正月もありません。故郷に家族を残し、蔵で酒造りに励んでおります。そんな蔵人の労をねぎらうため、正月三日の午後、町へ繰り出しました。初詣に行くのが通例ですが、今年は趣を変え、サーカスの公演を見に出かけました。**ポップサーカス**と名打ち、清水港に隣接した会場、清水マリンパークにテントを設営して静岡・清水両商工会議所の合併記念イベントとして興行していたのです。サーカスなんぞを見るのは私も久しぶりでしたが、蔵にこもりきりの蔵人にはよい気分転換になったようで、家族連れの観客に混じって時の立つのを忘れて見物いたしました。その後は場所を改め、昨年から予約を入れておいた中華料理屋で懇親会の開幕です。お雑煮とおせち料理もそろそろ食べ飽きた頃でしたので、臥龍梅のお燗酒と一緒に食が進みました。和気あいあい楽しいひと時が過ぎましたので、仕事の励みになってくれればと思います。蔵ではこれからいよいよ大吟醸の造りの本番を迎えます。

さて、写真をご覧ください。1枚目は漫画家、**高瀬齊**さんの近著「**蔵元&杜氏 おいしい顔 164**」(オフィス・タカセ発行 定価 900円)に載せていただいた小生の似顔絵です。デフォルムするとこんな顔になるのですが、他人様は自分の顔をこんな風に見ているのかと思うと複雑な気持ちです。2枚目は地元の女性アマチュア写真家、**山田まりこ**さんに撮っていただいた小生の肖像写真です。23歳、独身の可愛らしいお嬢さんですが、大学時代から写真家瀬戸正人さんのもとで写真の腕を磨き、昨年12月にはグランシップ6階の展示ギャラリーで2回目の個展を開きました。題して「**200人肖像写真展 in 静岡**」、静岡に住む人々を撮影した肖像写真200枚を展示したもので、小生もその中の一人というわけです。自分では、どちらかと言うとこちらの写真のほうを気に入っています。正月早々お見苦しいものをお目に掛けて恐縮です。



さて、今月は上槽したての**誉富士 55%精米**の純米吟醸酒をご案内いたします。好評につき完売し、長らくお待たせしておりましたが、ようやく新酒の出荷準備が整いました。静岡県が新たに開発した酒造好適米**誉富士**を用いたお酒を、先にご案内した**五百万石**、**短稈渡船**と飲み比べてお楽しみください。

寒さのおりからお風邪など召しませぬように。

平成 23 年 1 月 吉日

敬具

鈴木克昌